

2021-22年度RIテーマ
Serve to Change Lives
奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI会長:シェカールメータ

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	福本 博之	会計	片岡 佑貴	直前会長	久藤 孝仁
会長エレクト	板場 英行	副会計	大森 寛	管理運営	木村 安伸
幹事	宮本 和彦	S A A	宇都宮勝博	会員組織	吉本きよ子
副幹事	三好 静子	副S A A	野田 真治	奉仕	堀越 賢二

事務局/〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL/0846-22-7570 FAX/0846-22-7651
E-mail/rc-take@estate.ocn.ne.jp
http://www.takehara-rc.com

例会日/毎週木曜日12:30~13:30
例会場/大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 5月26日

次年度クラブアッセンブリー

次週のプログラム 6月2日

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生月該当者会員卓話

【2022年5月19日 第2735回 例会記録】

- 点 鐘
- ロータリーソング：それでこそロータリー
- 4つのテスト：大森 寛会員
- 会員数：14名（免除者：0名）
- 出席者：12名 □欠席者：1名
- メイク：1名 □出席率：92.86%

幹事報告

【幹事 宮本 和彦】

- ・第2710地区ロータリー奉仕デーINマツダスタジアム御礼状（総勢323名の参加）
- ・例会終了後、理事役員会を開催します。

会長の時間



【会長 福本 博之】

皆様こんにちは、今日も良い天気にも恵まれました。広島県内の最高気温は27度と暑くなってきております。皆様くれぐれもお気を付けてください。

先週は、オープン例会で、かつ米山奨学生の丁さんも出席されて賑やかな例会でした。

オープン例会ゲストの方とは引き続きコンタクトを取りたいと思っております。丁さんの次回のお例会出席日は6月2日の予定です。さらに交流を深めていただければと思います。

5月15日地区研修・協議会へ参加された皆様お疲れ様でございました。これから報告をしていただきます。宜しくお願いします。

地区研修・協議会報告

■会長・幹事部門

板場英行会員



5月15日（日）広島国際会議場で開催された地区研修・協議会に出席して参りました。合同会議について報告します。

基調講演は広尾RCの2020-23年度ロータリー公共イメージコーディネーター、

2022年度RI研修リーダーである服部陽子様との講演でした。話には引き込まれた40分間でした。一番に思ったのは、テーマがイマジンロータリーということでRI会長の考え、思いをベースに行動計画を作りましょうというメッセージでした。そして4つの戦略的な優先事項として、

- ①より大きなインパクトをもたらす行動計画を
- ②参加者の基盤を広げる計画を
- ③参加者の積極的な係わりを促す例会、行動計画
- ④適応力を高めるロータリー活動を

午後にも服部陽子氏がテーマを変えてDEI【Diversity（多様性）Equity（公平性）Inclusion（包括性）】についてメッセージがありました。ロータリー、他社の心を、文化を、立場を、望みを想像する心を持ってほしい、ロータリーは同じ奉仕の心を持った方たちの繋がりである。同じスタンスで立っている、使うツールは他社への思いやり、変化を受け入れるツールを持ち合わせてほしいと言われたのが心に残っています。

そして、もう一方、日本財団常務理事の海野光行様のお話がありました。テーマは「世界の海を、

瀬戸内海から変えて行く～「包括的ごみ対策 日本財団・瀬戸内オーシャンズX」で、包括的なごみ対策を日本財団がプロジェクトを立ち上げて行っていることが紹介されました。美しい海を次世代に繋げるプロジェクトを行っているそうです。

■クラブ管理運営部門

久藤孝仁会員



定款、細則の点検

青少年奉仕及び米山留学生など、任期が1年では難しい場合には、複数年の担当をしても良いのではないかと提案も有りましたが、今後の検討課題として、各クラブで協議する議案である。

DEI委員会の設置については、ガバナーの方針にも有りますので、ご検討いただきたいとの事です。Diversity（多様性）Equity（公平性）Inclusion（包括性）等DEIについては、今後皆様と情報共有していきたいと思っております。

女性会員の入会を推奨する旨の話もございましたが、DEIの話の後に、多様性とか公平性を論じながら女性会員の話題には疑問点がありました。女性会員の会員数を増やす方向には賛成です。

健康寿命をのばし、思いやりのある温かい例会運営をと話されていました。

RIと日本ロータリーの矛盾点も今後の課題であるように話されておりましたが、地区の小分けとして、山口県と広島県を分けるかもしれない話も今後のRIとの協議がなされるようです。

■会員増強部門

宮本和彦会員



新規のクラブを作る

退会者を増やさない、減らす

新規会員の獲得の為、常にアンテナを張っていただきたい。

■奉仕プロジェクト部門

（職業・社会・国際奉仕）

中川康子会員



2022-23年度RI会長テーマは「イマジン ロータリー」です。2710地区ガバナー信条は「人生100年時代に向けて、健康寿命を伸ばそう」と掲げられています。新たな奉仕活動の模索と実践を目指

します。各クラブの職業・社会・国際奉仕委員会の事業がこの両テーマに沿って円滑に実現されるよう連携を図りサポートします、とおっしゃっておられました。分科会のテーマとして、新たに策定された「がん予防新12か条プラス」の追加事項である口腔ケアとがんの予防に焦点をあてて一層の理解を深めるために講演を計画しました。また関連した奉仕事例の紹介ということ。各クラブの社会奉仕の一環として啓発活動のきっかけになればと期待をされました。

歯・口腔の病気と全身の健康、がん予防新12か条プラスを受けて、周南公立大学長の高田様の講演がありました。歯を大事にするということが全身の健康に関係するということで、新しいがん予防の12か条プラス、それによって健康で長生きが出来るようにということです。私たちも人生100年時代に頑張っていきたいと思いました。そして私たちはロータリアン一人一人が各人の職業を通して社会奉仕を実践し実現できるよう努力してまいりたいと思います。4つのテストの唱和を引き続き実践すると共に、いまの時勢的に困難な職場例会に代わる方策も検討したいと思っております。大変意義のある分科会でした。

■奉仕プロジェクト部門

（青少年奉仕）

吉本きよ子会員



RIテーマ イマジンロータリー、ガバナー信条の人生100年時代に向けて健康寿命をふまえて、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ、活動及び実践目指してほしいとのお話でした。



①現況報告

3月末時点での地区別年次基金の寄付報告があったが、目標の寄付額（150ドル／1名以上）に対して、竹原RCは全72RCの中で最下位の「0」だった。

事務局より名指しはされなかったが、「ゼロクラブにならないようお願いします」とのコメントあり。

②ロータリー財団の変更点について

1) 重点分野に新たに「環境」の項目が追加され7項目になった。

2) グローバル補助金の需要が急速に増加しており、約2倍になったため資金不足への対応として
 ・DDF寄贈に対するWF上乗せ率が50%に減少
 ・クラブcashに対するWF上乗せ率が「0」になった

・未使用DDFの繰り越しは5年間のみとするなどの変更点の説明があった。

3) 補助金活動報告

グローバル補助金の活用例として、奨学金の給付を受けた3名の報告(卓話)があり、いずれも「志」の高さと「行動力」に感銘を受けた。

■次年度幹事

木村安伸



次年度活動計画の提出をお願いします。

5月26日(木)12時より次年度理事役員会を開催します。

□日 時 令和4年5月19日(木)

□場 所 ホテル大広苑

□出席者 8名

□議 題

①片岡佑貴会員退会の件(転勤) 承認

②6月例会の件 承認

スクール形式・黙食・例会時間通常に戻します

★6/2、6/16、6/23、6/30=通常例会

★6/9=休会します

③他クラブ会員メイク受け入れの件 承認

④少年の主張中学生話し方大会寄付の件 承認